

クローズアップ

「原子力と向き合う」⑤

政策大学院大学教授
内閣特別顧問

黒川 清氏に聞く

「低炭素社会への積が大きな機会になっ
キーワードといわれる
「イノベーション」とは、
黒川 「イノベーション」
「イノベーション」とは、
「イノベーション」とは、

時代の劇的パラダイム転
換に対応し、世界で活躍
し、相応の存在であるに
は、相応の存在であるに
は、相応の存在であるに
は、相応の存在であるに

地球温暖化対策、原
子力との関連は、
黒川 原子力はCO2を排
出したエネルギー源と
して期待され、日本は優
れた技術を持している
から、海外でのしきを前
に、海外でのしきを前
に、海外でのしきを前

日本復活の鍵「破壊的イノベーション」

リーダーは壮大なビジョンと責任を

単純に「イノベーション」
「イノベーション」とは、
「イノベーション」とは、
「イノベーション」とは、

Googleは、たつ
た人の大学院生が十年
前に起業し、今や二千兆
を生むだろう。しかし、
低炭素社会へのさまざまな
政策、グリーンエネル
ギー技術、あるいはCO2排
出量取引のような金融的
枠組みを含めて、新しい
原子力ビジネスは、単
に高騰が世界経済に重
くのしかかる中、地球温
暖化防止とエネルギーセ

が、日本のCO2排出量は世
界の約5%。しかしアジ
ア他の世界経済が拡大す
る中、二十年后には日本
は1%程度となる。
半面、中国、インドなど
ほとんど比率が増大す
る。もし技術が抜き入出
ているというなら、日本
企業は温暖化防止に貢献
するためにも、今こそ
もっと世界に出て積極果
敢に途上国向けビジネス
を本格化しないのか私に
は不思議でならない。ひ
とつにはかつてのソニー
の盛田昭夫や本田技研の
本田宗一郎のように、自
らの技術・製品で世界制
覇、貢献を意図し、独自
の状況が様変わりする
中、現世代は将来世代に
大きな責任があるうえ、
この知識社会に住んでい
るべきか「知らなかった」
では済まないのだから。
（原子力ジャーナリスト
中 英昌）



「低炭素社会への積が大きな機会になっ
キーワードといわれる
「イノベーション」とは、
黒川 「イノベーション」
「イノベーション」とは、
「イノベーション」とは、